

おかやま

三学ぱる岡山



生涯学習センター

だより



伊島小学校との取り組み



第10号 THE TENTH NUMBER

特集：学社融合

ホームページへのアクセスはこちら
<http://www.pal.pref.okayama.jp/>

電子メールでのご連絡はこちら
syogaise@pref.okayama.jp

CONTENTS

学社融合特集

- ② 伊島小学校との取り組み
- ③ ④ 県下での学社融合の取り組み(山陽町、哲西町)

学習相談

- ⑤ 相談事例、学習相談・情報提供担当者研修の報告

ボランティア

- ⑥ ボランティアフォーラム ⑦ ぱるボラ奮闘記

わがまちの生涯学習

- ⑧ 備中町 ⑨ 英田町

声

- ⑩ センター利用者、メールサービス受信者

お知らせ

- ⑪ 教育シンポジウム、ハイビジョンシアター、子ども映画会

お知らせ

- ⑫ まだ間に合う! パソコン講座

岡山県生涯学習センター

学社融合研究モデル事業

岡山県生涯学習センター
岡山市立伊島小学校

一地域とともに歩む生涯学習施設と学校一

この学社融合研究モデル事業は地域に開かれた生涯学習施設と学校を目指し、「施設の利用」と「人材の活用」の2点から研究をすすめている。

今回は、平成12年4月～7月までの取り組みから、パソコン教室の利用を中心に紹介する。

1 パソコン教室の利用

(1) 概 要

- ・毎週水曜日の午前中に伊島小学校によるパソコン教室の利用を計画した。
- ・事前に、指導内容や学級の実態等について、打ち合わせを行った。
- ・1学期の成果と課題を探った。

■伊島小学校によるパソコン教室利用状況

月/日	曜	時 間	学年/組	利用施設	内 容
4月19日	水	9:00～12:00	3年1、2、3組	パソコン教室	パソコンの使い方
5月10日	水	9:00～12:00	6年1、2組	パソコン教室	情報収集の仕方
5月17日	水	9:00～10:30	6年3組	パソコン教室	情報収集の仕方
5月24日	水	9:00～12:00	5年1、2、3、4組	パソコン教室	情報収集の仕方
5月31日	水	9:00～12:00	4年1、2、3、4組	パソコン教室	パソコンの基本操作
6月7日	水	9:00～12:00	2年1、2組	パソコン教室	パソコンにふれる
6月14日	水	9:00～10:30	2年3組	パソコン教室	パソコンにふれる
6月21日	水	9:00～10:00	5年1、2組	パソコン教室	社会科調べ学習
6月28日	水	9:00～10:00	5年3、4組	パソコン教室	社会科調べ学習



写真1 パソコン教室での学習を参観する保護者

(2) 成 果

児 童

- ・パソコンの台数が多いのでパソコンに十分ふれることができ、基礎操作がよく分かった。
- ・調べ学習の時間がたっぷりとれた。

先 生

- ・パソコンについての指導法等が分かってよかった。
- ・センター職員がいるので安心して指導できた。
- ・複数で指導に当たれたので、指導に余裕が持てた。

センター

- ・子どもたちを介して保護者の方々にもセンターについて理解を深めていただくことができた。



写真2 映画の鑑賞

2 その他の施設利用

- ・演劇クラブが試写室を利用して映画を鑑賞し、劇のイメージづくりをした。(写真2)
- ・4年生が、環境学習のポスターをセンター内に掲示する活動をした。(写真3)

3 今後に向けて

- ・伊島小学校の先生とセンター職員が連携して、よりよい指導法を考えていく。
- ・パソコン教室のみでなく、他の施設の利用について考える。
- ・地域のお年寄りやセンターの施設ボランティアとの交流を進める。



写真3 ポスターの掲示

直接体験を重視した 学社融合を通して

わがまち山陽町は、県指定「いきいきスクール推進事業」を高陽中学校区で平成十年度から実施しています。

この事業では、学校教育が二十世紀の社会に的確に対応できるよう、社会教育のノウハウを取り入れて「横断的・総合的な課題」や「開かれた学校づくり」など特色ある学校づくり、生徒指導の機能を踏まえて学校・家庭・地域社会が十分連携を図りながら取り組むことにより、生き生きとした魅力ある学校づくりを展開しています。

同時に、推進指定校区内の山陽小学校においては、「学社融合」わくわく・いきいき活動モデル事業」を実施しています。この事業は、青少年の健全育成に資するため、青少年教育施設「岡山県青少年教育センター関谷学校」を利用して学校の授業を行う中で、学校教育、社会教育の教育機能を見直し、新たな学社連携（融合）の在り方について研究を進めています。

学社融合 わくわく・いきいき活動 モデル事業

この事業に期待できることとして学校内ではできない体験的な学習を通して生きる力をはぐくむことができる、環境教育やボランティア教育などの横断的・総合的な課題に取り組みや、社会教育施設職員をはじめ外部講師として家庭・地域社会などの学校外の教育力を活用すること



関谷学校について学ぶ

ができる、道徳的実践活動の場となる完全学校週五日制を見据えた効果が期待できる、開かれた学校を推進できるきっかけとなりうると同時に家庭・地域社会の教育力の回復が期待できるなどが挙げられます。以上のような観点から、山陽小学校では四泊五日の日程で小学校四年生を対



野外炊事

象にこの事業に取り組んでいます。

今年度の主な活動の内容は、関谷学校について学ぶ（社会）、オリエンテーリング（体育）、木工クラフト（図工）、野外生活・野外炊事・体験活動、昆虫・植物採集（理科）などで教科の学習をより効果的にするため学校の教室ではできない直接体験をおりこんで授業をすすめています。子どもたちは、

直接体験をすることによって興味・関心が高まり、意欲的に取り組み、生き生きしたまなざしでの活動ができています。これらの活動では、学校外の講師に指導をお願いし、地域教育力を最大限に活用し、より専門的で興味ある活動が展開できています。

小学四年生の四泊五日の日程は、若干長いようで、当初は、保護者は不安があり、心配もしていたようですが、学校教育・社会教育の協力体制のもと、その不安を取り除くことができました。そしてこの事業を終えた子どもたちは集団生活をする中で、新しい友達の良い姿を発見したり、自分自身に自信を持ったり、やり遂げた満足感と成就感で、ひとまわりもふたまわりも成長し、活動前と違った形で学校生活や、家庭生活を過ごしています。

本事業は、三年間のモデル事業であります。この三年間で、学校教育と社会教育の交わりを見いだし、互いの良いところを引き出しながら、これからの社会に対応する学社融合を目指して模索しています。そして、将来は、学校・家庭・地域が子どもたちを全面的にバックアップし、青少年の健全育成に資するような、地域社会の教育力の向上になればと期待しています。

民話を語る

里づくりをめざして

はじめに

哲西町は県の北西部に位置し、国指定天然記念物「鯉が窪湿原」を抱えた、「魅力ある福祉と文化の町づくり」を目指している町です。

哲西町ではふるさとの良さに気づき、心豊かな子どもを育成するため、学校の教職員や保護者、地域のボランティアが連携し、様々な体験学習に取り組んでいます。

特に、民話伝承者の故賀島飛左さんや歌人若山牧水の名歌「幾山河…」の生まれた地という文化的に恵まれた環境を生かして、民話と短歌の町づくりを推進しています。

実践事例

(1) 事業の目的

哲西町無形文化財保持者であった賀島飛左さんが伝承した七百余の昔話を子どもたちと語り継いでいくことにより、学社融合を進め、心豊かな人間の育成と地域活性化の一助となることを目的としています。

(2) 「民話の里づくり」活動の流れ

① 民話の紙芝居・アニメづくり

飛左おばあさんの民話を学ぼう

小学校の

クラブ活動

の二環として

放課後や第

二・第四土

曜日にも紙

芝居づくり

を実施。作

品選びや制

作に取り組

んできました。

完成した

作品をビデオに収録し、学校の発表

会や公民施設等で鑑賞会を行いました。

② 民話の語り部教室(母から子に民話を伝えよう)

地域に語り継がれている民話を親

が子どもに話し聞かせることにより、

温かい人間関係を築いてもらおうと

母親を対象に講座を開設しました。

③ 教職員のアニメづくり

先生たちもアニメをつくったよ

小学校の教職員が民話のアニメー

ションを制作。地元で伝わっている民



話を子どもたちや地域の人に広く知ってもらおうと、自主的に取り組みました。

④ 幼稚園児による民話の演劇

心を合わせてミュージカルをしよう

町内の有

志で結成し

た牧水一座

の影響もあ

り、幼稚園

児が演劇に

取り組んだ

民話演劇を

ミュージカル

風にアレンジしました。

衣裳から大道

具づくりまで保護者も巻き込んだ充

実した活動となりました。

⑤ 民話の集い

楽しい舞台を披露しよう

今まで取

り組んでき

たことのま

とめとして、

民話の集い

を開催しま

した。町内

外から大勢

の人が集ま

り、子どもたちの民話や紙芝居アニメ、

プロによる民話一人芝居などで楽しい



時を過ごしました。

⑥ 「飛左おばあさんの昔話」の編集

よりたくさんの人と民話を

幼・小・中学校の教職員が編集委

員となり、飛左さんの民話を本とし

て編集しました。この冊子は、町内の

全児童生徒に配布し、学校の教育活

動や親子の読み聞かせ活動に利用し

てもらっています。

また、この本を通して、各地の読み

聞かせグループとの交流も始まってい

ます。

おわりに

民話を語る里づくりを進めていく中で、子どもたちを取り巻く個人や団体が、それぞれの立場での活動内容を創意工夫し、他団体とのネットワークづくりをしています。

今後も町民主体の事業展開を支援していきたいと考えています。



相談事例

— 地域の人々と交流できるような講座に参加したい —

最近、他県から岡山市内に転居してきたので、知人も少ない。地域の人々との交流が生まれるような講座に参加したい。
当センターで、パソコンの講座でも受けてみようかと思っているが、どうだろうか。

(五〇歳代・女性)



創作という趣味を生かしながら、地域の人と交流する—
「のびのびキャンパス岡山」主催講座の「郷土の陶芸」より

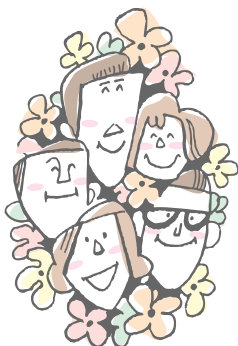
相談者の希望に沿って、まず「のびのびキャンパス岡山」の講座のひとつ「パソコンI(体験コース)」を紹介しました。

その後、話し合いが進む中で、公民館活動にもかなりの関心を示され、自分の趣味等を生かしながら、地域の人々とともに創作活動を始めたいという気持ちが高まってきたようです。会話の端々に、絵画や工芸に関する言葉が多用されるなど、学習課題が絞られたようでした。

そこで、それとなく聞いてみると、鳥城彫のような彫りものか、絵手紙をやってみたいと言われました。

時間をかけて、穏やかな会話が交わされるうちに、この方は、地域の人と交流を図りながら、生涯学習を続けることの大切さを、再認識されたのではないかと思われました。

市内で、鳥城彫、絵手紙を学習している公民館をいくつか紹介し、できれば、度々出て見学されるよう、勧めてお別れしました。



学びたい時、知りたい時に…

学習相談

をご利用ください

講座・研修会の案内

・公民館の講座を知りたい

指導者情報の案内

・研修会の講師を探している

団体・サークルの紹介

・手話サークルを紹介してほしい

資格取得の案内

・福祉の資格を取りたい

施設利用の案内

・展示会の開ける施設を探している

その他

・何か学習したいが何をしたらよいかわからない

相談は無料。
電話・ファクシミリ・
電子メールでもOK!
お気軽にどうぞ



岡山県生涯学習センター
交流棟2F
学習相談コーナー

TEL.086-251-9758(直通)
FAX.086-251-9757
電子メール syogaise@pref.okayama.jp
〒700-0016 岡山市伊島町3-1-1

学習相談・情報提供担当者研修開催される

七月四日、五日の両日、岡山県生涯学習センターで、平成十二年度第二回学習相談・情報提供担当者研修が開催されました。

③ 岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」の変更点(講義・演習)
④ カウンセリングの基礎(演習)

① テレビ会議システムを利用した学習相談(講義・演習)
② 学習相談の実際(事例、質疑応答)



「テレビ会議システムを利用した学習相談」の演習風景



「学習相談の実際」の講義風景

News
参加募集

文部省委嘱事業平成12年度生涯学習ボランティア推進フォーラム

晴ればれボランティアinおかやま

～時流に乗ろう! ぼっけえ、ぎょうさんボランティア～

と き:平成12年10月28日(土) 9:30～20:00
29日(日)10:00～15:30
ところ:岡山県生涯学習センター

シンポジウム 28/29日

①記念講演
講師 養老孟司氏
28日/13:30～15:00

②シンポジウム
「学びを生かすボランティア活動」
29日/10:00～12:00

ミニフォーラム (テーマ別ディスカッション) 29日/13:30～15:30

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| ①子育て支援とボランティア活動 | ⑤環境保全とボランティア活動 | ⑨文化伝承とボランティア活動 |
| ②青少年育成とボランティア活動 | ⑥こころの健康とボランティア活動 | ⑩生涯学習施設とボランティア活動 |
| ③まちづくりとボランティア活動 | ⑦地域の安全とボランティア活動 | |
| ④国際交流とボランティア活動 | ⑧企業人とボランティア活動 | |

発表コーナー 28/29日

- ①三学ばるコンテスト漫才、ダンス等のパフォーマンス
- ②ボランティアキャラクターの作成
- ③ボランティア川柳の募集
- ④ボランティア活動情報誌コンテスト

体験コーナー 28/29日

各種ボランティアグループ等による
体験の場

- ①ボランティア活動についての
基礎知識コーナー
- ②学校・ボランティア団体等の活動発表会
- ③ボランティアマーケット

展示コーナー 24日(火)～29日(日)

各種ボランティアグループ等の活動成果の発表

- ①ボランティア活動について基礎知識コーナー
- ②ボランティア団体等の活動紹介展

■詳しい内容についてのお問い合わせは

生涯学習ボランティア推進フォーラムINおかやま事務局

岡山県生涯学習センター振興課内へ

Tel.086-251-9751 (振興課直通)

Fax.086-251-9757

内容については
都合により変更
になる場合があ
ります。

はるボランティア奮闘記

本年4月よりセンターを中心に生涯学習ボランティアとして活動している「はるボランティア」（愛称）の紹介をします。

三学はるトライアルデイでも大活躍



●石川史麻さんコメント

7月23日(日)開催の三学はるトライアルデイのオープニングセレモニーやアトラクションの進行・案内を担当していた私は、アナウンスのセリフがすぐに出ず、とまどう場面もありました。仕事の合間に参加した子ども達と一緒に遊んだりもしました。私にとっての三学はるトライアルデイは、まさに様々な体験にトライできた一日でした。

パソコン講座のアシスタントで奮闘



●野々上優さんコメント

私は3年前、民間会社をリタイア後コンピュータを習いに烏城高校にきたのが「はるボランティア」に関わるきっかけとなりました。コンピュータは、取っ付き易かったのですが、奥が深いので今だに苦戦しています。習った事をすぐ忘れるので、継続学習しかありません。未熟でも教えながら学べば人よりは努力し、進歩もあるのではないかと思いますボランティア登録をした次第です。実際、パソコン講座のアシスタントをやってみて、色んな局面に遭遇し教える難しさを実感しています。講座生に分かってもらえた時は内心「ホッ」としますが、難しい質問には冷や汗をかきます。脳を活性化してコンピュータを「生涯学習」として人に喜ばれる活動をしたく思います。

募集

こんな方が登録しています

ボランティア活動したい人、ボランティアを求めている人！御相談ください

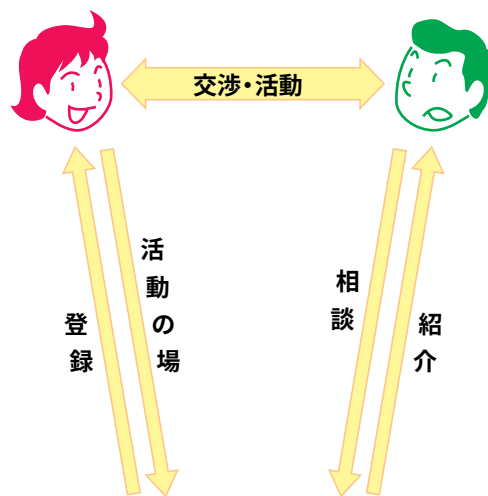
多彩な能力や特技を生かし講師や指導者として活動したり、催し物の運営等のお手伝いをしてみませんか。

- イベントでスタッフとして参加したい。
- パソコン入門講座のアシスタントができる。
- 国際協力について考えてみたい。
- 太極拳の指導ができる。
- 簡単な木製の小物づくりの指導ができる。
- ビデオ編集の手伝いができる。
- その他、様々な活動内容で現在47名が登録

活動の流れ

はるボランティア

ボランティアを
求めるグループ等



センター

文化創造によるまちづくり 備 中 町

備中町の
生涯学習

○手作りうどん講習会

平成十一年に、手作りうどんの講習会を開催しました。まず、小麦を水車で挽き小麦粉を作るところから始めました。



手作りうどん講習会

最近の水車を使って小麦を挽いたり、米をつくことがなく子どもたちは興味津々で見入っていました。また、うどん作りでは保護者の方たちも手作りうどんを作ったことがなかったそうで、子どもたちはもとより、保護者の方も真剣にかつ楽しそうに取り組んでいました。また、うどん

○伝統芸能の伝承活動

備中町では、町内3地区で小中学生を中心に子供神楽育成会が組織され、週一回の練習と年二回の発表会を行っています。また、県下の子供神楽団体との共演や高齢者福祉センター・身心障害者施設等へも出向き、神楽の発表を行っています。



子供神楽

んを試食後、ユニカールの講習会を開催し、子どもたちに大変好評でした。

○国際理解の確立

備中町では、国際理解と国際的視野を持つた人づくりを推進していくために、町単独で外国語の指導講師を採用し、小中学校での活用だけでなく、一般町民を対象に英会話教室を開設したり、町内のイベントへ参加することにより、町民との交流を図り、町民の国際的感覚を養っています。

○公民館講座

平成十年度・十一年度に備中学校パソコン教室を借り、町内の一般町民を対象としたパソコン教室を開催しました。上は七十歳後半の高齢者の方からは小学生まで幅広い年代から参加者が参加し、講師には大変ご苦労をお掛けいたしました。備中町では、英会話教室やパソコン教室の他にも、陶芸教室や手話教室等の各種講座、ソフト、バレーボール大会等の各種スポーツ大会も開催しています。また、ユニカールなどすべての住民が、気軽に参加できるスポーツの普及も行っています。



ユニカール講習会

備中町には、渡り拍子や備中神楽に代表される伝統芸能や笠神の文字岩に代表される文化財等が各地に点在しており、これら文化的遺産を保護・継承していく一方、情報化・国際化の進展により人・物・情報が自由に行き来する時代を迎え、地域文化の向上や新たな文化を創造する活動が、備中町においても活発になってきており、そういった活動が積極的に展開されるよう、指導者の育成及び指導者が活躍できる環境の整備が急がれます。

数多くの生涯学習に取り組む 英 田 町

「人が育てるふるさと」 人を育てるふるさと

英田町では豊かで活力のある社会を築き、生きがいのある人生をおくるため、数多くの生涯学習に取り組んでいます。数ある講座の中より数例を紹介しましょう。

○国際交流事業

【大芦高原英会話講座】

英語を母国語とした諸外国人との文化交流をもとに、色々な体験学習をしながら英会話の実力をつけ「国際感覚をもつ後継者づくり」を目指して取り組んでいます。

県指導課より派遣された外国語指導

助手六名を講

師に、英語演

けの四泊五日

の合宿研修で

す。定員二十

名で毎年八月

に開催し、本

年で十五回目

です。



英会話講座

○文化講座事業

「豊かな人生を過ごす生涯学習の振興」をテーマに年間三講座を開催しています。講座の内容も政治経済・文化・福祉・人権・健康・スポーツ等の中から著名人を講師に迎えて実り多い講座で好評を博しています。受講者は毎年二〇〇名程度です。



文化講座

○生き生きライフ学習講座事業

町民の積極参加型の生涯学習実践活動講座です。文化・趣味教養・福祉と生活・健康スポーツと多種多様の二十講座があり、希望する講座は全て受講できます。申し込み延べ人員は八百名程度になります。



絵てがみ教室

○親子ふれあい教室

「三匹のこぶた」の紹介

核家族化、少子化が進むなかで、楽しんで育児に取り組んでもらい、子どもたちも仲間に囲まれて健やかに成長することをねらい、この教室を行っています。二歳から就園前までの子どもと保護者を対象に、手遊びや紙芝居、自由遊びなど行っています。

大勢の仲間と遊びながら様々な体験をすることで、親も子も遊び上手になり、友達もたくさんできました。



小麦ねんど遊び

交流棟利用者の声



岸本 修さん
(グループ8)

光風会岡山支部の作品研究会の会場として、よく生涯学習センターを利用させてもらっているのになじみが深い施設です。展示スペースでのグループ展は、昨年から開かせてもらっていますが、ゆったりとしたスペースがとれるので、大作の展示の甲斐があります。広い駐車場や夜9時まで利用できることも大変ありがたいです。多くの方に作品を観ていただき、さらに研鑽を重ねたいと思います。



展示スペース

書道、版画、写真、絵画、伝統工芸品等の作品展示ができます。陳列ケースや作品台の使用により小品も数多く展示可能です。

お問い合わせは振興課へ。

土井 理恵さん
(サロン・オカリナ)



「飾り付けどうする?」「お客さんにキャンディ配りたいよなあ」生涯学習センターでの月2回の練習の成果を発表する交流ロビーでのコンサートもはや2回を数えました。気楽に聴いていただける交流ロビーの雰囲気が嬉しくて毎回衣装やアンサンブルの組み合わせ等、メンバー一同張り切って取り組んでいます。

交流ロビー

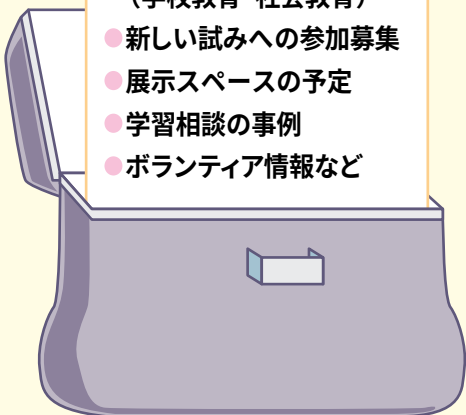
ミニコンサート、人形劇、伝統芸能活動等の発表の場として利用できます。観客席も80席設営可能です。



生涯学習メール受信者の声

お届けします

- センターの行事、イベント
- 講座、研修会の募集案内
- 新着教材の紹介
(学校教育・社会教育)
- 新しい試みへの参加募集
- 展示スペースの予定
- 学習相談の事例
- ボランティア情報など



「生涯学習センターに関することは自分が関心を示さないと、情報を得ることは難しいですが、こうやって珍しい話題が自宅で見られるのはありがたいものです。」

「県の進める情報化を生かすという点において、地道な活動になるかと思いますが、がんばってください。」

● 毎月20日配信予定(臨時配信あり)

配信先は、事業所、個人を問いません。

「生涯学習メールサービス希望」と「配信先 E-mail アドレス」

を明記して、下記の E-mail アドレスまでお知らせください。

携帯電話用メールサービスもごさいます。

お問い合わせ先

岡山県生涯学習センター情報課

〒700-0016 岡山市伊島町3-1-1

電話.086-251-9752 FAX.086-251-9757

U R L <http://www.pal.pref.okayama.jp/palmail/index.htm>

E-mail syogaise@pref.okayama.jp

教育シンポジウム

「岡山の教育～閑谷から学ぶこと」 参加者募集

閑谷学校の建学精神に触れ、現代の教育及び21世紀の教育を考えるため、県生涯学習センターと県青少年教育センター閑谷学校の主催で次のとおり行います。どなたでも参加できます。

日時 平成12年10月21日(土) 10:30～15:30

場所 岡山県青少年教育センター閑谷学校 (〒705-0036 備前市閑谷784)

	10:30～12:10	13:00～14:30	14:40～15:30
内 容	開会行事 基調講演 「岡山の教育」 講師 柴田 一 (就実女子大学 文学部長)	教育シンポジウム 「岡山の教育～閑谷から学ぶこと～」 コーディネーター 井上元(倉敷市文化振興財団常務理事) パネリスト 廣常人世(岡山大学名誉教授) 延藤十九雄(兵庫県立阪神養護学校長) 遠藤秀機(和歌山大学教授)	見学 特別史跡旧閑谷学校

■参加料 1000円(昼食代・資料代)

■申込み 往復はがきに「教育シンポジウム」参加希望と書き、併せて住所、郵便番号、氏名、電話番号を記入の上、郵送してください。

■申込締切 平成12年10月13日(金)

■定員 400名(応募者多数の場合は抽選します。)

■岡山県生涯学習大学「郷土の文化1」の第1回並びに閑谷学校創学330年記念事業を兼ねています。

申込み・問い合わせ先

岡山県生涯学習センター振興課
TEL.086-251-9751



X'mas

子ども映画会

ハイビジョンシアター

後期

平成12年12月24日(日)

第1回目10:00～ 第2回目13:30～

フランダースの犬(103分)
年神様とお正月(10分)

開催日	時間	上映作品	分野
11/25 (土)	10:00 ～11:50	ET (115分)	娯楽
1/27 (土)	10:00 ～11:45	銀河の魚 (23分) 忍たま乱太郎 パート5 (25分) ジャングル大帝 共存 (24分) トイレの花子さん (30分)	自然 アニメ アニメ アニメ
2/24 (土)	10:00 ～11:35	PENGUINS (25分) 猫の事務所 (22分) はむこ参る (20分) 忍たま乱太郎 パート4 (25分)	自然 アニメ アニメ アニメ

入場無料&申込不要

ところ／岡山県生涯学習センター

視聴覚室(情報・創作棟1F)

定員／各72名(席数の関係上、先着順となります。)

まだ間に合う! パソコン講座



申込は往復ハガキで!

脱!

初級パソコン講座

- 11月21日(火)と24日(金)
Internet&Mailコース
デイトの部
10:00~12:00
- 12月12日(火)と14日(木)
ハガキ作成コース
デイトの部
10:00~12:00
- 12月13日(水)と20日(水)
ハガキ作成コース
トワイライトの部
18:30~20:30

入門!

初級パソコン講座

- 第6回11月18日(土)
10:00~15:00

家族

ふれあいパソコン教室

- 第6回11月11日(土)
- 第7回12月9日(土)
- 第8回1月13日(土)
10:00~15:00

注) 申込締切は、各講座日の1ヶ月前必着です。

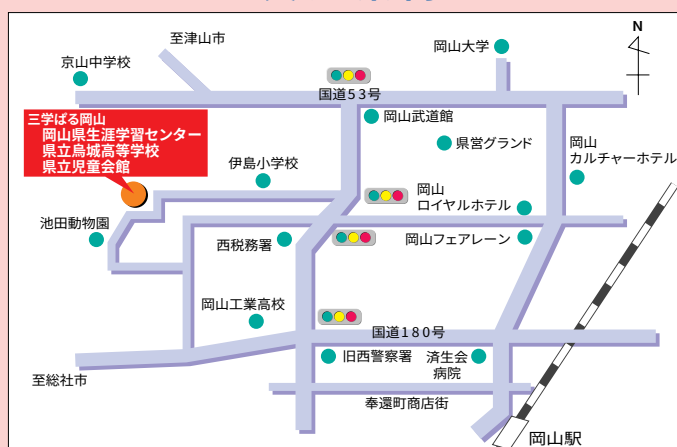
☐ 7000016 岡山市伊島町 三丁目一 岡山県生涯学習 センター情報課行		記入不要
☐ 返信 連絡先住所 参加者氏名様	受講希望講座名 希望講座日 ●郵便番号 ●住所 ●電話番号 ●参加者名 ●学年 (家族ふれあいのみ記入)	

三学はる岡山

生涯学習とは、生活の向上、職業能力の向上や自己の充実をめざし、家庭、学校、地域社会、職場等のさまざまな場で生涯にわたって習い学ぶことです。

江戸時代の儒学者、佐藤一斎の著した『言志晩録』の中に「少而學則壯而有為、壯而學則老而不衰、老而學則死而不朽」という言葉があり、生涯にわたっての学習の大切さを説いています。このことは生涯学習がめざすものであることから、生涯学習センター・鳥城高等学校・児童会館の一角に県民の「少・壮・老」の三世代が仲間(ばる)として集い、楽しく学習や交流ができる親しみやすい生涯学習ゾーンとなるよう「三学はる岡山」の愛称が付けられました。

交通案内



- | | |
|----|--|
| 車 | ■JR岡山駅西口から約5分 ■山陽自動車道岡山ICから約10分 |
| バス | 岡電バス JR岡山駅バスターミナル(7番乗場)から京山・池田動物園行き児童会館前下車(所要時間約15分) |
| 徒歩 | ■JR岡山駅西口から約25分(約1.7km) |

・開所時間

平日(火曜日~土曜日)午前9時から午後9時まで
日曜日 午前9時から午後5時まで

・休所日

月曜日、国民の祝日・休日、12月28日から翌年1月4日まで

問い合わせ先

・講座

(086) 251-9751 (振興課直通)

・教材・機器等の利用

(086) 251-9752 (情報課直通)

・学習相談

(086) 251-9758 (直通)

・施設利用

(086) 251-9750 (代表)